

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL

150

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

きれい

障がい者施設での音楽活動を通して
得られたものとは？

献奏社 / 音楽教室ゆめ色えんぴつ代表 音楽家

片山健太郎さん

リトミック講師・おしゃべりフルーティスト

片山 美沙さん



伊勢神宮
神苑

伊勢神宮内宮の玄関口、宇治橋を渡った先の五十鈴川沿いにある広大な庭園。美しく刈られた芝生と清々しい松が広がっている。春と秋には「神楽祭」で舞楽が奉納される。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

障がい者施設での音楽活動を通して得られたものとは？

献奏社／音楽教室ゆめ色えんびつ代表 音楽家

片山健太郎さん

リトミック講師・おしゃべりフルーティスト

片山 美沙さん

■道のり ————— 6

増築・内覧会 ～新たな生活の幕開け～
グループホームきれい御糸の杜

獅子岩

世界遺産、天然記念物及び名勝でもある獅子岩。高さ25m、巨大な獅子が海に向かって咆哮するような形をしています。5月～6月頃、人によって見方は変わりますが、獅子が口に朝日をくわえるような神秘的な光景がみられます。また冬至の前後には月を加えるような光景になるそうです。

■なかま ————— 7

新しい仲間

伊勢社会的事業所 勝山 遼さん

■ハートフルリレー ————— 8

パフォーマー いっしんさん

■春夏秋冬 ————— 9

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ————— 17

三重県障がい者雇用優良事業所等表彰・セミナー
「夢・相撲を取りたい」

～追手風部屋の千秋楽祝賀会に出席～

■きれいアートギャラリー ————— 18

日中活動作品紹介

■職員の休日 ————— 20

二見生活介護支援センター潮音 水野 千

■きれいかいの動き ————— 表3
新職員・人事異動他

表紙写真



障がい者施設での 音楽活動を通して 得られたものとは？

献奏社／音楽教室ゆめ色えんぴつ代表 音楽家

片山健太郎さん

リトミック講師・おしゃべりフルーティスト

片山 美沙さん

今回は夫婦で音楽活動をされており、亀鈴会の取り組みへ広く関わって頂いている片山健太郎さんと片山美沙さんにお話を伺いました。インタビューは宮の里ミタスメモリアルホームの光山隆慎です。

Q1、音楽の仕事に携わったきっかけを教えてください。
片山健太郎さん…ピアノを5歳で始めて、そこから音楽を続け、音楽系の大学に進学しました。しかし、心境の変化があり、他の職種にすすみました。たまたま、25歳のときに仕事先でピアノの演奏を頼まれ、それがきっかけで音楽の道に戻ることになりました。

Q2、健太郎さんにとって音楽とは何ですか？

片山健太郎さん…音楽は自分の青春時代の中で、一番大きな趣味でした。そのときどきで、様々な音楽との思い出があって、たくさんミュージシャンから生き方を学んできました。こうなりたい、こういう風に生きられたいというあこがれは強かったですね。音楽の道に進もうと決めたのは、やはり音楽の大学に進学しようと思ったときですね。高校時代にクラシックの音楽が好きでした。その頃はクラシック漬けの日々で、中でも「ブルックナー」という作曲家に惹かれていました。自分の中で表現したいという想いが強くなっていったのが決心に繋がりました。その後、投げだしてしまいましたが、そこで音楽との向き合い方が変わりました。自分の生活には常に音楽があったので、普通の人が音楽とどう関わってきたのかをあまり知らずに来ました。だから音楽に対するずれを少し修正できたのは良かったかなと思っています。音楽に対してのバックグラウンドの理解が自分の強みかなと思っています。



Q3、「献奏社」のお話を聞かせてください
片山健太郎さん…2013年に立ち上げました。妻と結婚し、二人で始められることがきっかけです。名古屋の烏森に事務所を置いて活動を開始して、もともとはお葬式に音楽を導入する音楽葬をしていました。そこで福祉葬祭との繋がりができ、横山理事長から音楽療法をしてほしいとオファーがあり、現在の関係になりました。他の福祉施設でも、65歳以上に向けた音楽プログラムを企画をしています。コロナ以降ストップしていたので、ここからの展開も考えていきたいです。もともとはご葬儀の音楽でスタートしましたが、コロナの状況や家族葬が多くなったこともあり、昨年ストップしました。今は音楽教室に力を入れています。他には、イベント派遣で市のイベントや事業に定期的に関わらせていただいています。

Q4、音楽療法を依頼されて、すぐに引き受けて下さったのですか？

片山健太郎さん…そのときは音楽療法のことを全く知りませんでした。音楽療法は音楽が手段であるということが目的です。私は演奏家なので、奏でることが目的です。位置付けが全く変わってくるので、自分には無縁の分野だと思っていたので迷いました。しかし、偶然にも話をいただいたのは、妻がリトミックの資格を取得したタイミングでした。リトミックと音楽療法は音楽が手段である

ものとして、通じるものがあると思います。自分にとっても、新しい音楽との向き合い方だと思い、引き受けることに決めました。2015年から開始し、今年で9年目です。

Q5、音楽療法の魅力とは何ですか？

片山健太郎さん…これまでの取り組みは音楽を届けることが目的であり、今まで携わって来なかった分野なので目から鱗です。発見が多く、演奏家は自分から発信する世界で、主役が演奏でしたが、音楽療法の主役は利用者さんです。音楽を通じた関わりで目的と手段が逆転しています。戸惑うことも多かったですが、音楽療法担当者さんのまとめ役としてやってみて思ったことは、人々が今までどうやって音楽と関わって生きてこられたかのバックグラウンドを知ることができるところです。情緒の安定、生活品質の向上を発見できるのも魅力ですね。私を知りえなかった音楽の魅力を感じました。音楽で打ち解けて、笑顔を向けてくれた。挨拶を返してくれた。そういった瞬間に喜び、魅力を感じています。

Q6、大変だったことは何ですか？

片山健太郎さん…手探りで始めたので、学んできたことをアウトプットしたつもりが、利用者さん一人一人違うため、全然響かないことが多かったですね。このプログラムならいけると思ったものが、いけないとい

う結果からの試行錯誤が大変でした。学んだこととは別に、その場その場で利用者さんを見て、表情、動作を観察して、その人に合ったものに取り組む。握ってもらったことから始めることの（感触など）プロセスに気づくまでが大変でした。それは利用者さんにとっても大きな道のりだと思います。決められた時間の中、グループで行っているので利用者さん同士の差や進み具合が気になります。できたという達成感を味わってほしいので、そこが音楽療法士さんの試行錯誤で大変なところだと感じています。

Q7、亀鈴会では音楽療法の会議にも参



**加していただいていますが関わっていた
だき、どうでしょう？**

片山健太郎さん…参加させていただいていることが、本当に光栄で素晴らしいことだなと思っています。3年前から佐藤先生（大学の教授）が参加し、毎月の定例会議が始まりました。音楽教育に関して、医療の立場からアドバイスをもらえることはとても勉強になっています。学会での発表や、全国的にも施設全体で取り組んでくださっているのはすごいと感じています。これは音楽療法の先端を見ている気がしていて音楽療法の分野で貢献していくと思っています。

Q8、これからの亀鈴会での抱負を聞かせてください

片山健太郎さん…色々な分野で協力していることが何よりの喜びです。季節ごとのコンサート企画を取り入れて下さることも嬉しく思っています。ボイストレーニング、リトミックなどそういった中で、音楽療法に関わらせていただいていることに誇りを持っています。また、利用者さんが「また来てくれた。ありがとう」と言ってくれるように頑張っていきたいです。これからもよろしくお願い致します。



続いては、片山美沙さんにお話を伺いました。

Q9、今までどのような音楽活動をしてこられましたか？

片山 美沙さん：小さい時からピアノを習っていたのですが、ピアノが苦手で、レッスンも話をして時間をやり過ごすかを考えているような子でした。でも、気づいたら中学の時に吹奏楽部に入り、部活に明け暮れる日々でした。たまたまそれがあつたのが、フルートを辞めている自分が想像出来なくなり、そのまま大学まで続いていきました。初めは、フルートの演奏活動や教えることをメインでしていました。リトミックとの出会いは、10年前に何かの雑誌を見て知りました。自分のフルートのレッスンにリトミックを取り入れたいと思い、勉強し、資格を取得しました。そこから、リトミックの演奏活動を中心にしてきて、今ではその知識を



活かした「ゆめ色えんぴつ」という音楽教室もしています。

Q10、美沙さんにとって音楽って何ですか

片山 美沙さん：私にとってはツール、道具であって何かを伝えるための手段だと考えています。私は演奏を極められなかったタイプでした。しかしそれを使って人の心を開く苦手を取り除くことに関してはたぶん得意なので、今後もし心こめて音楽を使っていきたいと思っています。

Q11、健太郎さんと音楽への考え方が全然違ったのですね。自分の強みどうやって発見されたのですか？

片山 美沙さん：大学卒業してすぐは、音楽はちゃんと演奏しなければというテンプレみたいな感じになっていたのですが、行き詰ったときに健太郎さんが「こういうのもあるよ」と私の頭をほぐしてくれました。やってみると、私にとってはステージで会話もせず披露するよりも、ストレスなくできたものでアイデアがわいてくるものでした。健太郎さんに出会わなければ、今の音楽はしていなかったと思います。今の形ではなく、もっとアカデミックにしていって、埋もれていたと思います。

Q12、その強みを生かすために力を入れていることを教えてください



片山 美沙さん：音楽葬、イベントの企画演奏、音楽教室をしています。音楽教室「ゆめ色えんぴつ」では、音楽だけではなく子供の居場所づくりにも力を入れています。音楽は副産物で、音楽の好きな子供がふえればいいなと思っています。コンクールに入賞したいと思いがあつた子は、うちには向いていないと思います。しかし、一生音楽と仲良くなれる子供たちは、確実にどんどん育っているという自信はあります。そこさえ身につければ他の所でもやっていけると思っています。役割分担で私はそこを大切に



ていきたいです。暮らしの中をモットーにしている、暮らしの中に全て落とし込んで次につなげていきます。これをきっかけに生きた興味を広めて欲しいです。違う所にのびてもいい、それをみつけられる種を大切にしています。

Q13、リトミックで嬉しかったことや、気をつけていることを教えてください

片山 美沙さん：決められたことをするのはなく、自分で発見できている子が多いのでそれが嬉しいですね。やりたいものを自分でつかんでくねることが一番の喜びです。気をつけているのは、「じつでなきゃ」という考えをほぐすことです。何もなくて自由にしているのが一番難しいので、どこまでやりげなくヒントをだすかを考えて、参加してもらっている方の考えをほぐすことです。

リトミックは何にでもくっつけられるのが良さだと思っていて将来はリースクール、学童をつくりたいと思っています。

Q14、宮の里でのリトミックの抱負を教えてください

片山 美沙さん：一人一人違う利用者さんなので何のためにしているのか目的を明確にして目的をもった中での自由が難しいです。そして目的に近づけているのか？楽しんでだけではないか？させたいことの目的に近づけているのか？させてしまっている状態ではないのか？などが不安ですね。でも一人一人の利用者さんに寄り添って、力になれるように勉強中です。

今回、インタビュー引き受けていただきありがとうございます。

お二人の音楽への考え方を改めてお聞きし、とても素敵だと感じました。これからもよろしくお願いします。お忙しい中、本当にありがとうございます。



持ってもらっているのは自作の楽器です



道のり

増築・内覧会

新たな生活の幕開け

グループホームきれいな御糸の杜

2015年4月、法人で4ヶ所目となるグループホームを明和町の地に設立。快適に過ごしていただくことをテーマに新築でユニバーサルデザイン適合、全居室エアコン、ベランダ完備。男性4名、女性3名の生活がスタートし、今年で9年目。より多くの方々に自立した生活を提供させていただきたく、3部屋の増築に踏み切った。2024年4月、増築工事開始。6月末に完成し、8月には満室となる。内覧会では、入居予定者の方と保護者様に参加いただき入居者や生活支援員（世話人）との顔合わせをする。自治会長喜多様にもお越しいただき、改めて法人のご理解を得るよい機会となった。

増築したお部屋は、新築のいい香りがして新たな生活が始まるわくわくドキドキ感を演出。お部屋のお披露目では、新しく入居される方々に喜んでいただき自治会長の喜多様もお部屋の大きさや充実した設備に驚かれていた。

最後は、お弁当屋潮音のリッチ弁当（法人内手作り弁当）を食べながら談笑する。美味しいお食事のおかげで会話が弾み、初対面とは思えないほどいい雰囲気の中で内覧会を終えることができた。新たな生活の幕開け。

これからも明和町の地で、10名の方々（男性4名、女性6名）が快適に充実した生活を送れるようにサポートしていくとともに、地域の方々との交流にも力を入れなにかあったときには助け合える関係性を構築していきたい。

最後に、自治会長の喜多様、榎田川祓川沿岸土地改良区の皆様、増築にご協力ご理解賜りありがとうございました。



建屋正面



お部屋の内覧



居室



自治会長あいさつ



内覧会・奥村本部長あいさつ



新しい仲間

伊勢社会的事業所 勝山 遼さん

今回紹介するのは、4月より伊勢社会的事業所に就職された勝山 遼さん。以前は第2南勢就労支援センターのまかせ太メンバーとして、草刈り作業・不用品回収・施設やアパートの清掃などの作業に取り組んでいただいていた。4月より伊勢市駅前再開発ビル「Miraise」内で清掃作業に従事していただいている。

第2南勢での就労期間中には、「危険物取扱者 丙種」に合格されたりと、何事においても向上心をもって取り組まれる方です。

現在も、社会的事業所の担当外現場への現場応援が出来るように、向上心をもって頑張っていたいただいている。

最初は慣れない作業にとまどいはあったと思うが、今では社会的事業所のかかせないメンバーの一員として頑張っている勝山遼さんに今後も期待したい。



掃除風景

パフォーマー いっしんさん

パフォーマーのいっしんさんは、八野就労支援センターきらきらで、日中活動の一環として月一回マジックを披露したり、マジックの簡単なクラフト体験をしたり、利用者さんとともに楽しい時間を過ごしています。

いっしんさんが、マジックと出会ったのは小学校5年生の時で、初めてプロのマジックを見て「自分もやってみたい」と思ったそうです。それがきっかけとなり、高校生の頃にはマジシャンとして活動を開始。日々の練習とマジックの魅力に夢中になり社会人となっても、会社員の傍ら続けて来られました。そんな日々の中、「町おこし協力隊」の一員として誘われ、山口県から東員町に来られたのは2020年で、パフォーマーとしての本格活動を開始しました。八野就労では、福祉向けに工夫を盛りだくさん考えて頂き、利用者さんを楽しませて頂いています。分かりやすくするために、通常、いっしんさんが行っているマジックより、スピードをゆっくり、同じ動作を繰り返してマジックを披露されています。

利用者さんも、月一回のマジックを楽しみにされており、7月のマジックショーでは、一枚の新聞サイズの紙を8つ切りに：あれ？あつという間に元の大きさの紙に!!みなで「おーっ」と、声が上がりました。いくつかのマジックの後は、簡単なクラフト体験の時間。利用者さんが、マジックの披露が出来る道具を作ったり、マジック特有の目を引き付けるためのパフォーマー的な物を作ったりしています。作ったものは練習して1人ずつ発表したり、家族に披露したりと楽しく取り組まれています。今回は、紙コップを使い、紙コップロケットを作りました。作ったロケットは飛ばし合いをして、ゴムの切込みを深く入れたり工夫。マジックのパフォーマーに使うクラフト体験でした。

マジックを魅せるだけではなく、クラフトも取り入れていて、利用者さんも「自分でもできた」という達成感にマジックをより身近に感じていると思います。

各地、色々な場所へ行かれている「いっしんさん」の、ワクワクするパフォーマーと、ご活躍を楽しみにしております。



八野生活介護センター

プロ野球観戦

7月6日(土)、バンテリンドームへ中日VS広島の試合を、利用者7名職員5名で観戦しました。野球好きの利用者さんが多く、久しぶりのプロ野球観戦が出来た。

グッズを購入し、座席から見下ろす景色に感動の声!!

試合も緊迫した展開でしたが、時間の都合上試合終了まで観戦することができませんでした。食い入るように試合を見つめ、湧き上がる歓声に施設内では見られない表情で笑顔を見せていた。



七夕イベント(音楽と遊ぶうコラボ)



7月5日(金)、デイルームにて七夕イベント+音楽と遊ぶうを行った。事前準備は1ヶ月ほど前から笹に彩る飾りやコツコツ折り紙にて作りました。短冊に願い事が書ける方には自身で願い事を書いてもらい自身で書く事が難しい方にはご家族に短冊をお渡し準備を手伝ってもらいました。7月初旬に笹が到着、願い事を書いた短冊やお飾りを飾り完成。イベント当日は職員によるピアノ演奏。七夕の歌を中心に海や童謡等を皆で歌い踊りました。最後に笹飾りと皆で記念撮影。素敵な七夕イベントを行う事が出来ました。

放課後等デイサービスURAURA

URAURA八野

なつまつりウィーク

8月5日(月)から10日(土)までの一週間はなつまつりウィークと銘打って日替わりでお祭り活動を楽しんだ。お祭り定番の輪投げやヨーヨー釣り射的などに加えて缶バッジ作りや太鼓相撲釣りやポケットボールなどもおハッピー姿で楽しんだ。毎日のおやつもチョコバナナやフルーツ飴、ポップコーンや駄菓子、アイスなどの特別メニューとなり、調理実習も兼ねてみんなでワクワクおいしい時間を過ごした。バックに流れるお囃子の音も場を盛り上げ、お祭りの雰囲気を感じることができた一週間だった。



入れていくぞ～！
輪投げ



どの的に当たるかな？
…射的



トントン 太鼓相撲



ヨーヨー釣り・
ヨーヨーすくい



フルーツ飴の
おやつ作り



チョコバナナの
おやつ作り



ちょっと難しいぞ…
ポケットボール

8月5日(月)はURAURA稲生の夏祭り。この日は屋外にもテントを設置し、水遊びやヨーヨー釣りなどで大いに盛り上がった。スパーボールや輪投げ等も楽しんだ後は特別メニューのランチタイム。焼きそばやフランクフルト、焼きトウモロコシやたこ焼きなどを頬張った。午後はスイカ割りに挑戦。声援の飛び交う中、スイカを割るのだ！とみんな勇ましく頑張っていた。おやつはスイカやお祭り定番チョコバナナ。お腹もいっぱい思い出もいっぱいの楽しい一日となった。



テントの下の
水遊びサイコーです！



どれを釣ろうかな？



外で食べるイベント
ご飯は美味しい！



やった～！黄色の
スイカ続々ヒット！



おやつのスイカは切ったら
赤いスイカでした



輪投げでジュースをとるぞ！

URAURA稲生

URAURA夏祭り

八野就労支援センター

就労ウオーカー夏祭り・施設長と保護者対話会

8月17日(土)、15時～18時、19時～21時の2回、行事にドキドキの利用者さん達。今回の行事は、利用者さんアンケートの「一番やってほしい行事ランキング」上位の「カレー作り」!! 職員の心配をよそに、上手にジャガイモの皮を剥いたり、玉ねぎ、にんじんを包丁で切ったり、初めてピーラーや包丁を持つ利用者さんもいたが、職員と共に真剣に取り組まれていた。保護者様からは「今まで包丁を持たせた事がなかったがこれを機にお手伝いしてもらいます」と、嬉しい言葉も頂いた。

カレー作りの合間に盆踊り、射的、スーパーボールすくい、水鉄砲、花火と盛りだくさん楽しめました。「東京音頭〜よいよい」と終了時間が迫っても、太鼓を順番で叩いたり、踊ったり盛り上がっていた。

お待ちかねのカレーが出来上がり、利用者さん皆で「いただきまーす」自分達で作ったカレーを「おいしいね!!」と満足気な笑顔が印象的だった。

同時刻、施設長と保護者様との2回目の対話会も開催された。

1回目のGHの見学会と対話会も好評で、今回2回目の開催にあたり、16名の参加があった。施設長から将来に向けて知りたいことの事前アンケートで意見の多かった「GHショートステイ」「権利擁護、後見人」「財産管理」について説明があった。保護者様から沢山の質問や、意見が挙がり関心度の高さと熱心が伺えた。

対話会の後に、普段の様子等を話し合ったり、夏祭りの様子なども見学されて行かれる保護者さん達もいた。今回のカレー作りは保護者様にもお手伝いいただき、とても好評であった。来年はぜひ保護者様も一緒に夏祭りを楽しんでほしい企画を考えていきたい。



具材たっぷり



包丁も安全に使えました



上手に皮剥ぎができました



花火大会



室内で快適に盆踊りを満喫



音頭にあわせてリズムよく



自分で作ったカレーは格別です



手作りカレーの出来上がり

きれいサポートステーション

起震車体験

8月19日(月)に鈴鹿市防
災危機管理課の職員の方
に來所していただき、防
災教室を実施した。もし
も！に備えて〜自然災害
からいのちを守る〜と
題した講義を受けた。自
分の命をどう守るか、災
害への備え(心構え)、水
平避難や垂直避難、ハ
ザードマップなどを絵で
分かりやすく説明をして
いただいた。また起震車
で震度3〜5の地震を体
感していただいた。

初めて体験する利用者
さんも多く、「思ったより
も怖かった」や「こんな地
震だったら歩けないよ」
などの感想が聞かれた。
8月に『南海トラフ地
震注意報』が初めて発令
されたこともあり、今後
も災害に備えた準備を
しっかりと行っていきたい。



もしも地震が起こった時は



頭を守ってね



乗る前の注意事項

美味しんぼ対決

8月24日(土)と31日(土)の2日に分けてお料理教室を実施した。今回はいつものお料理教室から趣向を変えて、美味しんぼ対決という形を取り入れた。

今回の料理はピザ。利用者さんには予めトマト・ホワイト・カレーの3種類のソースの中で一番お好みのソースを選んでもらい、ピザ生地作りから始めた。皆さん粉まみれになりながら何とか生地の形を整え、チーズと野菜をトッピング。焼きあがるまでワクワクドキドキ。思い通りのピザになりましたか？切り分けた自分のピザと取り換えっこしてお互いに美味しさを褒め合っていた。

今回は、みんなで夕食をする前に利用者さん・職員代表審査員にどのピザが美味しいかをジャッジ。ダントツでカレーソースが優勝を勝ち取った。

ピザとポトフに使用したトマト・チーズ・ピーマン・ジャガイモは、サポート菜園で収穫した野菜たち。暑期中、水やりや草抜きをしていたいただいた利用者さんに感謝！とても美味しくいただきました。



暑期中ありがとう！



手順通りに作ろう



た〜んとお水をあげました



デザートは最後のお楽しみ



いざ美食

南勢就労支援センター

南勢パラリンピック



南勢パラリンピック2024



30点を先取競争!

ととなった。
ジナル金メダルを授
ムには表彰式でオリ
ムに貢献。1位のチー
ムに貢献。得意分野でチー
ムに貢献。1位のチー
ムに貢献。得意分野でチー
ムに貢献。1位のチー
ムに貢献。得意分野でチー



狙い撃ち!



上手に入るかな?

8月12日(月)、パリオ
リンピックにちなんで
南勢パラリンピック開
催ー選手宣誓から開
始し、5種目の競技(写
真参照)を8班に分か
れて競争をした。みな
さん、得意分野でチー
ムに貢献。1位のチー
ムに貢献。得意分野でチー
ムに貢献。1位のチー
ムに貢献。得意分野でチー

南海トラフ地震警戒 期間中での体験・訓練



地震では頭を守るよ!



煙の中を体験してきます 消火器の使用を体験

8月13日(火)、伊勢市防災センターにて、地震・津波・火災についての体験学習をした。東日本大震災の映像では、津波の怖さに全員が言葉を失ってしまふほどだった。消火体験では1番最初にすることとして「火事だー!!」と大声で叫ぶ事を学んだ。煙の中を移動する体験もした。煙で視界が限られた空間だったが、みんな落ち着いて行動出来ていた。8月15日(木)に施設でも防災訓練実施。防災センターで学んだことを思い出し話されている利用者さんもみえた。

超涼祭

8月15日(木)、超涼祭は選択制で活動に参加いただいた。夏の歌限定カラオケ大会班では、上位3名には景品がもらえるとの事で、白熱し大盛り上がり。うちわ作成班では、折り紙、レース紙、キラキラペン、カラーペン、色鉛筆などを使用して自慢の1枚を創作。午後からは映画鑑賞。ホラー映画班とジブリ映画班に分かれて鑑賞。部屋を暗くし、じっくり鑑賞した後は、手作り焼きそばとジュースで乾杯!!おかわりの長蛇の列ができた。



手作り焼きそば、おかわりあるよー



一緒に作ろう♪



自慢の1枚!



上手く出来たよ!



どんなのにしようかな♪

第2南勢就労支援センター

納涼祭 2024夏

8月15日(木)、午後から納涼祭として「たません射的・フリースロー・かき氷」を出店風に配置し、クラブ時の班毎に分かれて出店を回っていただきました。

当日は最高気温34.5℃と真夏日という暑い中、外で自分の選んだフリースローで食べるかき氷は、嬉しそうに食され、涼んでいただいている姿が印象的であった。

また利用者さんが行きたい出店の順番はいつなのかと聞かれたり、射的やフリースローで当たったり、入ったりした時の歓声・たませんを食べる時の笑顔を見ることが出来、楽しい時間を過ごしていただけた。



うっまい!!



炎の男



開店準備中



たません順番まだかな～？



よーく狙ってね

宮の里ミタスメモリアルホーム

アイスパーティー

7月、8月の日中活動の喫茶では「アイスパーティー」が開催。

たくさんのアイスの中から、利用者さんには好きなアイスを選んで頂いた。みなさん、他の方のアイスも気になるようで「次はそれにしよう」と食べてみたいアイスが見つかったようだった。

それぞれが好きなアイスの話で盛り上がり、とっても賑やかな雰囲気だった。



バニラ美味しい♪



これに決めた



あ〜(´▽`)美味しいわあ



どれがいいかなあ

夏まつり

7月、宮の里にて夏まつりを開催した。地域のまつりに負けないように屋台を手作りし、オリジナルゲームを考案。飲食ブース、ゲームブースともに大盛況。おまつりでは定番の輪投げ、景品を準備する。得点により景品のグレードが違いため、勝負師の顔つきで挑戦されている利用者さんが多く、高得点を出された利用者さんはガッツポーズで大喜び。オリジナルゲームのバーベキューゲームは最初に生肉（片面）かステーキ（片面）かを選び対戦形式でひっくり返し合つゲーム。勝敗は自分が選択したお肉の形状が多い方が勝ち。職員が手作りのリアルなお肉に大興奮され、ゲームも白熱。飲食ブースでは、屋台にたこ焼きやベビーカーを買った感を感じていく。8月には花火大会を開催予定（イン스타그램に投稿します）。まだまだ2024年の夏を満喫するぞー！



輪投げいくつ入るかな～



食べたいな～



おもちゃ釣り上手に釣れるかな～



夏祭り用の看板

二見生活介護支援センター 潮音

幸せを運ぶキッチンカー



待ってました!キッチンカー

5月19日(日)
四日市からキッチンカーが潮音に登場。自分で選んだクレープやドリンクを片手に、ギターの弾き語りを楽しんだ。



ペロリと完食

お昼ご飯を食べた後にもかかわらず、作られたのクレープを口いっぱいにはおぼり、あつという間にペロりと間食。青空の下、新鮮なフルーツと共に美味しくリフレッシュできた時間を過ごした。

毎年恒例の伊勢シーパラダイス

6月22日(土)、伊勢シーパラダイスへ出かけた。薄暗い洞窟を思わせるトンネルの中では、巨大魚やカワウソ、ペンギンがお出迎え。利用者さんは、興味津々に眺めておられた。

屋外では、トドの「ヴォツ、ヴォツ」と迫力ある鳴き声と大きな体に恐く、遠くから見つめるだけの方などハラハラドキドキした時間を過ごした。

もう一つの楽しみとしてお土産街での買い物だ。クッキーやキーホルダーなど自由に好きなものを選んで買う喜びは格別。「どれにしようか?」と、迷う姿がほほえましく、いつもとは違う利用者さんの笑顔に職員も心が和むひとときだった。



全員集合

念願のミニコンサート

「この歌が聞きたい!」利用者さんの願いを現実に!!三重県出身の『モジプール』さんに来所いただき、ミニコンサートを開催。生演奏の迫力に会場いっぱいこの拍手も加わって、大盛り上がり。透き通るような美声に参加者全員が魅了された。



私のプロデュース



透き通る美声

令和6年度

三重県障がい者雇用優良事業所等

表彰・セミナー

9月19日(木)、三重県総合文化センターレセプションルームにて、令和6年度の県内障がい者多数雇用事業所8社に対する表彰が行われた。

伊勢きれい会は、昨年度に三重県知事賞を受賞したことから、今年度は第2部のセミナー講師として、横山仁司理事長が、テーマ「親亡き後の一生涯支援を目指して」サブテーマ障がい者雇用率向上が不可欠と題し講演を実施。就労継続支援B型事業所の現状を伝え、参加企業に対し「特例子会社」制度から脱却し「グループ企業経営方式」へ移行することで、より多くの障がい者雇用に繋がることを提言した。また、行政関係者に対し県、市、町が管理する施設の清掃管理を福祉事業者に対し、優先発注制度を適用し外部委託してほしい旨を訴えた。



セミナーで講演する理事長



障がい者職場定着支援セミナーの様子

「夢・相撲を取りたい」

～追手風部屋の千秋楽祝賀会に出席～

上田勝彦さんの夢は相撲を取ることです。日々、どついたら相撲が取れ、尚且つ、勝利することができると考えている。

宮の里は、そんな上田さんの自己実現を叶えるサポートとして宇治山田商業高等学校の相撲部を見学しに行つた。練習を見て、ヒントを探すと足腰を鍛えることが相撲を取ることに重要なことだと感じた。宮の里に戻り、上田さん用に改良したスクワットトレーニングを開始する。

そんなとき、「追手風部屋 千秋楽祝賀会」へ出席できるチャンスが訪れる。生の力士に大興奮。前頭の翔猿さんとのツーショットのチャンスに、日々のスクワットトレーニングの成果が表れ、自らの意思で車いすから立ち上がる。

翔猿さんは、立ち上がるとは思っておらず「えっ、すごい」と心の声が漏れていた。その場で相撲を取ることができなかったが、翔猿さんを驚かせ、金星を上げることができた。

サイン(手形)をいただき、日々眺めながら今年度中に「相撲を取ることを目標にトレーニングに明け暮れる日々。今後の展開にこころ期待！



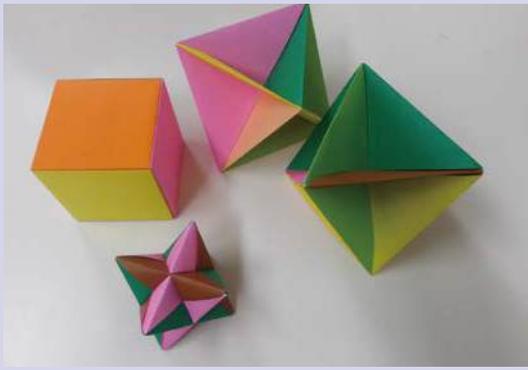
大栄翔さんとの記念写真



翔猿さんとのツーショット



遠藤さんとのツーショット



作田虎汰郎さん



にしじろ折り紙教室作品「なんせいうちくん」



谷口雄太さん



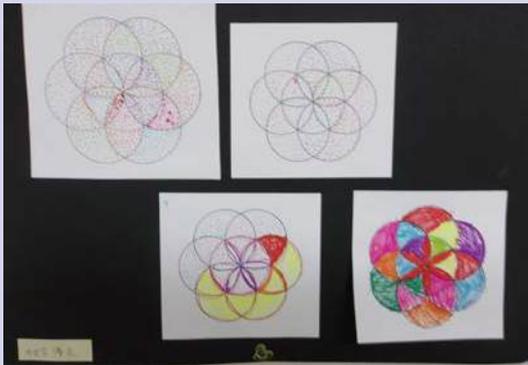
北村瑞穂さん



尼子真優華さん



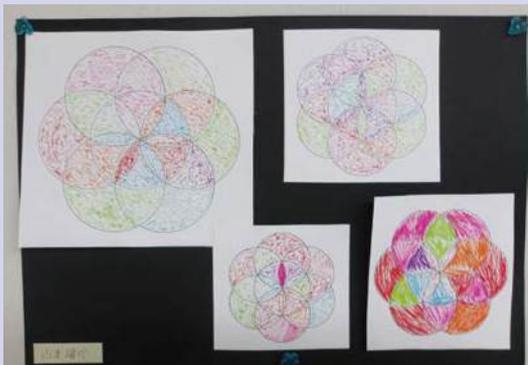
郭大亜さん



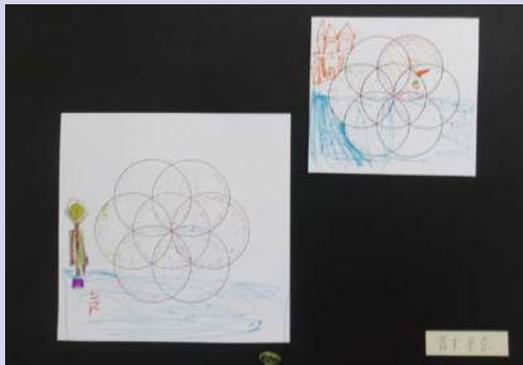
中世古優衣さん



藤村悦美さん



山本雄介さん



青木美奈さん

南勢就労支援センター

きれい アート ギャラリー

きれいアートギャラリーでは利用者さんの作った物、書いた物など作品を紹介していきます。
各施設の力作が勢ぞろい！是非ご覧ください。



「メスマライザー」 山口美幸さん

宮の里ミタスマモリアルホーム



竜田尚美さん

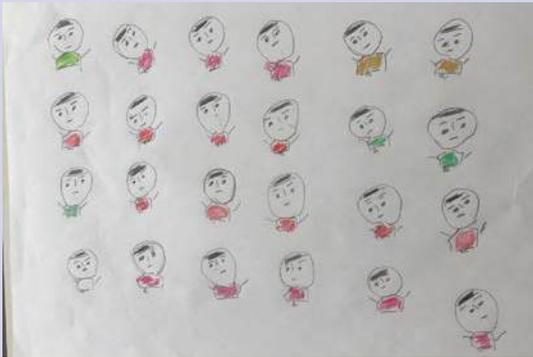
二見生活介護支援センター潮音



潮音利用者作品(うちわ)



竜田尚美さん



木地政之さん



山本愛菜さん



潮田美奈子さん



潮音利用者作品(風鈴)

職員の休日

OLIDAY



2基の神輿横ゆすり



宵宮夜の屋台



大屋台



小屋台

「見生活介護支援センター」潮音 水野千

今年4月から「見生活介護支援センター」潮音に入社させていただきました水野千と申します。

普段の私の休日は、自宅の掃除や草取りを行い、余裕があれば洗車やバイク磨きをしています。また、健康づくりとして、景色がよい所や神社仏閣へ出かけてウォーキングも行っていきます。

今回は、そんなありきたりな休日ではなく、年に1回の特別な休日をご紹介します。

それは、7月13日・14日に開催された射和祇園祭の運営です。

射和祇園祭は、私が住んでいる松阪市射和町に伝わる300年以上もの歴史を持つ勇壮で優雅な祭りです。伊佐和神社から2基の神輿が町内を巡行し勇ましい掛け声とともに、神輿が左右に揺れる「横ゆすり」、上下に揺らす「縦ゆすり」が男衆によって繰り返されます。また、町内の6町には大小12基の屋台があり、子供たちのお囃子に合わせて、神輿とともに町内を巡行し、夜になると提灯や雪洞の灯に照らされ、それは荘厳の姿になります。

私は、祭保存会役員として、昨年度の祭終了後から、役員のための準備会議を繰り返し、5月からは6町の祭担当者を含めた会議や準備を重ね当日を迎えます。

祭当日は、梅雨空で途中雨に降られる開催になりましたが、大きな問題もなく終わることができました。また、1年に1回、祭りの時だけに会う方もあり、楽しいひと時でした。

このような歴史あるもの維持することは、簡単ではなく時代の流れもあり、今後どのような形で存続していくことが出来るか分かりませんが、自分のできることを継続して、存続につながればと考えています。

きれいかいの動き 新職員紹介

八野生活介護センター



内藤 智子



山下 里美



齊藤 香奈子

八野就労支援センター

きれいサポートステーション

南勢就労支援センター



吉田 健登



高橋 潤也



看護師 中西友理奈

**ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。**

ご寄付 2024.6.1~2024.8.31

法人

井上 恵子 様 鈴鹿社会的施主様
山城 等 様 葬祭喪主様 車椅子1台
森 豊 様 鈴鹿西ロータリー会員 お茶4ケース

福祉葬祭三重

浄土真宗本願寺派 西方寺 様
真宗大谷派 浄得寺 様
真言宗 醍醐派 一心寺 様
真宗高田派 浄運寺 様

ご厚志一覧(順不同)

福祉の森まつり(北勢)

有限会社洋久屋燃設 様
合同会社フォルテンモ 様
富士交通株式会社 代表取締役 萩 文三男 様
法人監事 小森 稲穂 様
御座池自治会 会長 南部 司 様
花工房卯らら 様
川北 真千子 様
丸亀産業株式会社 代表取締役社長 竹上 景太 様
株式会社福祿壽総本店 様
株式会社杉之内工務店 様
川口看板店 川口 文也 様
JAYACARE株式会社 様
有限会社江藤電設 様
藤川設計株式会社 代表取締役 藤川 啓志 様
NDS株式会社 支店長 飯柴 満 様
白川建設株式会社 代表取締役 服部 清 様
三重リコピー株式会社 相談役 林 昭寿 様
株式会社フジエンタープライズ 代表取締役 伊藤 素近 様
社会福祉法人白鳩会 理事長 清水 啓子 様
三重水熱工業株式会社 代表取締役 有川 勝俊 様
内田 常一 様
八野ケラドゴルフクラブ 岸美恵子 坂八重子 様
野呂尚様 大橋次子様 渋谷三也子様 森幸子様 川北勝子様
株式会社グッドドライブ 磯部ゆかり 様
株式会社アド三愛 様
玉田医療福祉グループ 様
社会福祉法人 安全福祉会 様
宣隆寺 様
服部 美法 様

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

150号の編集長を務めさせていただきました、宮の里ミタスマメモリアルホームの光山と申します。

巻頭インタビュー記事も担当させていただきました、良い経験になりました。

また、初めての編集長で戸惑うことも多く不安でしたが、編集委員のみなさんのおかげで何とか150号を完成させることができました。一つ一つの記事に目を通して頂けたらと思います。

ご協力いただいた多くの方々に、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。



ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスマメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいています。利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881
宮の里ミタスマメモリアルホーム 担当:澤 TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音 担当:倉田 TEL0596-72-8822



きれいな通信 **ちょっと寄り道!!**

江戸時代より代々亀山で酒屋を営んでいた



老舗
山形屋酒店



今回の寄り道は江戸時代より代々亀山で酒屋を営んでいた老舗・山形屋酒店さん。大きなのれんが出迎えてくれる。

当時の銘柄「薄紅葉」(現在は他業者が登録商標済)にちなんで「浮紅葉」によって平成8年に販売を復活した。事前の蔵がないため店主の伊藤勝さんが県内の蔵を回って最も気に入った伊賀の若戎酒造に製造を委託。本醸造、純米吟醸、純米酒、3種類を720mlと1.8Lで販売(純米酒は1.8Lのみ)している。原料の米は、純米吟醸・純米酒に国産米を、水は青山高原の伏流水を用い高松誠吾氏が指揮するこだわりの酒だ。「口当たり

が軽やかでぐっと入ってくるけど、後口の引きが良い」(伊藤さん)と淡麗で年々売上げが伸びている。今年の秋に蔵を変えリニューアルするとの事で楽しみだ。

その他にも三重の地酒や朝日酒造久保田など「特約店」ならでのお酒が購入できるのも魅力的だ。



〒519-0126 三重県亀山市東丸町 527

- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター
- 指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
 〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
 TEL059-378-8881(代) FAX059-379-3223
 e-mail haching@kirei.or.jp
 指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
 〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
 TEL059-392-5130(代) FAX059-392-5131
- 指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
 〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
 TEL059-378-6622(代) FAX059-378-5335
 e-mail hachino2@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
福祉の森の家 体にいいおにぎり屋
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
 TEL059-380-6355 FAX059-367-7377
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
 TEL059-388-1508 FAX059-388-1508
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 空羅多ガーデン (ゆたがーでん)
 〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
 TEL059-388-1882 FAX059-388-1882
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 亀山 第1栗の木ヴィレッジ
 (第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
 TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 亀山 第2栗の木ヴィレッジ
 (第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
 TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 御糸の杜 (みいとのもり)
 〒515-0354 多気郡明和町行部131
 TEL0596-55-6900 FAX 0596-55-6900
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな みや川
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
 TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいなサポートステーション
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
 TEL059-388-0864 FAX059-367-7911
- 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所・指定一般相談支援事業所
きれいなライフステーション
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
 TEL059-340-7997 FAX059-367-7050
- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスマメモリアルホーム
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
 TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
 e-mail miyanosato@kirei.or.jp
- 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所
宮の里ライフステーション
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
 TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033
- 指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音 (しおね)
 〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
 TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823
- 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所
潮音ライフステーション
 〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
 TEL/0596-63-5061 FAX/0596-72-8823
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉄砲塚728番地の18
 TEL0596-58-0101(代) FAX0596-58-6742
 e-mail nansai@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
お弁当屋 潮音 (しおね)
 〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
 (二見生活介護支援センター 潮音内)
 TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
 e-mail oberitoya-shione@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
 〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
 TEL0596-55-6711(代) FAX0596-55-3535
 e-mail nansai2@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 白子
 〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
 TEL059-380-1711 FAX059-380-1712
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
 TEL059-380-1717 FAX059-380-1720
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 津
 〒514-0014 津市港町18-12
 TEL059-213-1717 FAX059-213-1771
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢
 〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
 TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025
- 社会的事業所
まかせ太君 (鈴鹿)
 〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
 TEL059-370-8118 FAX059-370-8119
- 社会的事業所
まかせ太君 (伊勢)
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
 TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451

指定就労継続支援B型事業所

印刷

八野就労支援センター
きれいな印刷工場

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
 ☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp